

愛の便り

校訓: 志が人生を創る

雲仙市立愛野中学校 学校便り

令和6年 5月31日

第87号

文責 (校長; 末永栄喜)



～一人一人が主役～の総会開催

今日で5月も終わり、明日から6月に入ります。来週末はいよいよ雲仙市中総体球技・武道大会です。週間予報では天気への心配はなさそうです。これからは技を磨くというよりは、感染症への対策やけがの予防には万全を期し、最終調整(心身のコンディションづくり)に気を配ってほしいところです。そういう意味では、戦いは既に始まっていると考えてほしいですね。時間と体を大切に過ごしてください。

さて、体育大会の練習と並行して1か月以上前から、各学級では生徒総会に向けた活発な議論がなされていました。昨日の木曜日は、全校生徒が一堂に会して生徒総会が開かれました。今年度も全校生徒がコの字型に配置された座席で真剣に参加していました。



これまで、収支報告(予算や決算)や各専門部活動、そして学校生活全般に対して各学級で協議を重ね、質問や要望を上げていました。専門部によっては、意見や指摘を受けて年間活動計画を修正したり、新たな取組を追加したりする部もありました。逆に、ズバッと一蹴、毅然とした姿勢で却下する場面もありました。「給食費は無償化になりましたが、税金で賄われている給食なので、感謝の気持ちで残さず食べましょう。」という給食委員長(奥菌さん)の言葉は印象的でした。

スクリーンに映し出されるスライドを真剣に見つめる態度や代表者の意見発表に耳を傾ける姿勢は、とても感心できるものでした。それ以上に、意見に対する生徒会役員の答弁も説得力のある丁寧な答えを返していた点も立派でした。

どこの中学校の総会もここで終わるのが一般的ですが、本校の場合はこの



後、スローガン達成のために各学級で話し合った意見を代表者が発表し合います。

生徒会の評議委員会で設定した「目指す理想の生徒像」を達成するために、学級の現状はどうか、課題はどこにあるのか、それを解決するための

方策は?まさに、一人一人が現状を見つめ、みんなで分析して課題を洗い出し、学級全体で解決に向けた対策を考えてくるものです。ここにも、生徒個々の自覚や参画意識を高める効果があります。どれもさすがに、時間をかけて練り上げられたいい意見ばかりでした。生徒会役員が持ち帰って検討を重ね、来月の生徒総会には具体策も発表される運びです。

私が生徒総会のたびに言い続けていることに、「学校を変える。学校を動かす。学校を創る。」というのがあります。愛野中学校の生徒としての自覚や誇りを胸に、皆で学校をどう変えるのか、学校を動かすために何をすればいいのか、愛野中学校の新しい校風を創るために、自分はどうな形でかかわっていけばいいのかを考えるきっかけになればいいですね。この総会をスタートに一人一人が主役となって活躍し、誰もが自分ごととして考える主体性を発揮しながら誇れる学校を創ってほしいと願っています。

玉ねぎ大豊作!

卒業生のごく一部の生徒と一緒に12月初旬に植えた玉ねぎが、ここ最近の好天のおかげでようやく収穫の時を迎えたので、先週3年生の手を借りて収穫を行いました。



スポツと抜ける感触に歓声を上げたり、玉ねぎの臭いに「クサッ(臭っ)」と言ったりしながらも大量の収穫に汗を流したところです。終わってみれば、収穫量はなんとコンテナ7杯分もありました。来週は、その横で栽培しているジャガイモも収穫できそうです。玉ねぎがちょうど乾燥する頃ですので一緒に持ち帰らせる予定です。どちらもカレーには必須の具材なので、親子でおいしい料理を作ってもらえれば幸いです。収穫後の畑には、次は2年生がサツマイモを植える予定です。これも秋の収穫が楽しみです。

花苗をいただきました

かつて一緒に務めた学校の用務員さん(ご勇退の身)が体育大会当日、ご自身で育てた花の苗を持ってきてくださいました。ポチュラカ、ペチュニア、ダリア、マリーゴールドです。買えば高いのでとても助かりました。早速、正面玄関や運動場側の花壇に植えました。大事に育てたいと思います。しばらくは子どもたちの目を楽しませてくれそうです。誰か気付いた人が水をあげてくれればうれしいですね。

